

SCHOOL JURIDICAL PERSON SEIKEI GAKUEN

成蹊学園 広報

第62号
Summer
2006

成蹊大学キャリア支援センター発足 早期から学生一人ひとりの職業意識を高める ～伝統と個性を尊重した成蹊ならではのキャリア教育～

[CONTENTS]

- 2 キャリア支援センター発足にあたって
- 4 2005年度決算および事業報告について
- 6 桃李の人々
- 9 データに見る成蹊大学の實力
- 10 募金局だより
- 12 大学の近況
- 14 中学・高等学校の近況
- 16 小学校の近況
- 18 健康支援センターから
- 19 在学生および教職員数／2007年度 入学試験日程
- 20 学校行事予定(7月～9月)／学園史料紹介

完成間近の情報図書館



成蹊大学キャリア支援センター

発足にあたって

成蹊大学キャリア支援センター所長 北川 浩

二〇〇六年度から成蹊大学では、それまでの就職部をキャリア支援センターに改組しました。これまでは学生の就職活動の支援は、事務部署である就職部(就職進路課)で行ってききましたが、今後これらの業務はすべてキャリア支援センターが継承することとなります。キャリア支援センターは、単なる事務部署ではなく、学則上大学の附属機関として位置付けられる教育支援機関であり、キャリア教育に関する様々な教育支援活動を行っていくことを予定しています。

「キャリア」という言葉には多くの意味があり、確定的なイメージを思いうかべることが難しいと思います。一般的に言つと、「キャリア支援」というのは、「それぞれの人間が、職



業や仕事を通じて社会とどのように関わっていくべきかという意識を成長させるプロセスを支援すること」を指し、そのための教育がキャリア教育です。したがって小学校や中学校には、小学生や中学生にふさわしいキャリア教育があり、大学には大学生にふさわしいキャリア教育があります。近年多くの大学がキャリア教育の必要性を認めるようになり、先を争うようにキャリア教育の開発に取り組んでいる状況にあります。これらの状況を詳細に見回してみると、単に業者が創ったプログラムをそのまま適用していたり、他大学の完全な模倣を行ったりするケースが多く見られます。また、単なる就職活動のノウハウを伝達することをキャリア教育としてカリキュラム化している大学も見られます。

成蹊大学では栗田学長の指示の下で、成蹊大学にふさわしいキャリア教育のあり方を模索する試みが開始されました。個々の大学にはそれぞれ個性があり、学生の気質や雰囲気、志向などの学生文化は、大学によって大きく異なっています。成蹊大学キャリア支援センターは、出来合いのプログラムを使用するのではなく、成蹊大学の歴史や伝統を踏まえた上で、現在の成蹊大学の学生に適合する教育プログラムを手創りで構築していくことを目指しています。



2006年3月卒業生の主な就職先

就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数
(株)みずほ銀行	67	エム・シー・マシナリー(株)	5	共栄火災海上保険(株)	4	新光商事(株)	3
東京海上日動火災保険(株)	28	ダイワボウ情報システム(株)	5	郵船航空サービス(株)	4	東京産業(株)	3
(株)損害保険ジャパン	16	森村商事(株)	5	ダイヤモンドコンピューターサービス(株)	4	(株)横浜銀行	3
三井住友海上火災保険(株)	15	(株)成城石井	5	トランス・コスモス(株)	4	(株)東京都市銀行	3
東京海上日動あんしん生命保険(株)	14	オリックス(株)	5	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	4	中央労働金庫	3
(株)三井住友銀行	12	野村證券(株)	5	オリックス自動車(株)	4	住商リース(株)	3
日本興亜損害保険(株)	12	三井生命保険(株)	5	国家公務員	4	東銀リース(株)	3
三菱電機ビルテクノサービス(株)	12	東日本旅客鉄道(株)	5	ボラス(株)	3	みずほインベスターズ証券(株)	3
大日本印刷(株)	11	(株)インテリジェンス	5	田辺製薬(株)	3	太陽生命保険(株)	3
(株)りそな銀行	9	(株)損保ジャパン情報サービス	5	(株)INAX	3	三井不動産販売(株)	3
みずほ信託銀行(株)	9	住信ビジネスサービス(株)	5	(株)フジクラ	3	全日本空輸(株)	3
日本生命保険(株)	9	清水建設(株)	4	東洋製罐(株)	3	KDDI(株)	3
(株)千葉銀行	7	大和ハウス工業(株)	4	マックス(株)	3	東日本電信電話(株)	3
三菱東京UFJ銀行	7	大阪シーリング印刷(株)	4	(株)日立製作所	3	東京電力(株)	3
(株)大和証券グループ本社	7	ニチアス(株)	4	(株)村田製作所	3	ヤフー(株)	3
大同生命保険(株)	7	横河電機(株)	4	沖電気工業(株)	3	日販コンピュータテクノロジー(株)	3
警視庁警察官	7	三菱自動車工業(株)	4	本田技研工業(株)	3	(株)ナガセ	3
日本紙パルプ商事(株)	6	(株)イシダ	4	(株)フォーバル	3	三井住友銀オートリース(株)	3
住友信託銀行(株)	6	(株)トーハン	4	(株)ベスト	3	三井不動産住宅サービス(株)	3
三井リース事業(株)	6	住商機電貿易(株)	4	(株)守谷商会	3	日本電子計算機(株)	3
(株)日興コーディアルグループ	6	(株)伊勢丹	4	キャノンマーケティングジャパン(株)	3	日本郵政公社	3
旭化成ホームズ(株)	5	中央三井信託銀行(株)	4	コーンズドッドウェル(株)	3	東京特別区職員(I類)	3
積水ハウス(株)	5	(株)ジェーシービー	4	加賀電子(株)	3	埼玉県警察本部	3
凸版印刷(株)	5	アメリカンファミリー	4	高千穂交易(株)	3		
出光興産(株)	5	あいおい損害保険(株)	4	三菱商事パッケージング(株)	3		

大学院生含む

キャリア支援センターで実施している主な支援プログラム

1年生 2年生 3年生	キャリア教育支援	【キャリアボード】 「自分の将来や学生生活を考える、きっかけ作りの場」として、本学ウェブサイト上に「キャリアボード」というプログラムを提供しています。ここでは、職場で活躍するOB・OGを1・2年生が訪ね、当時の学生生活や就職活動、現在の仕事内容などについてのインタビュー記事や、インターンシップ体験記、各種資格の合格体験記などを掲載しており、低学年時からの職業観を醸成します。	
		【キャリアプランニング特別講座】 法学部、文学部および理工学部の1・2年生を対象とする「キャリアプランニング特別講座」を開講します（経済学部は既に「キャリアプランニング科目」という授業で開講しています）。成蹊大学での学生生活を通じて人間的な成長を遂げ、自立した社会人・職業人としてビジネスライフを築いていく力を獲得するために、本学が独自に作成したテキストを使ってキャリア設計に必要な知識の習得を目指します。	
		【資格取得支援】 資格取得のニーズに応えるべく、下記の資格対策講座を開講しています。 ■ 2006公務員試験対策講座（3年生対象） （国家Ⅱ種・地方上級を目指す学生向けの「教養＋専門コース」と、技術職・警察官・消防官等を目指す「教養コース」があります。） ■ 2006公務員試験対策基礎講座【行政書士コース含む】（1・2年生対象） ■ 2006日商簿記3級試験対策講座 ■ 2006初級システムアドミニストレータ試験対策講座	
3年生	就職支援	【インターンシップ】 インターンシップは、企業等において就業体験をする制度です。主に3年次の夏期休業を利用して実施されていますが、中には1・2年生が参加できるものもあります。 実際の業務を経験することを通じて、将来就職したいと思っている業界や職種への認識を深めるだけでなく、まったく知らなかった業界に興味を持つきっかけとなるかもしれません。就職活動を開始する前の自己分析に役立ったり、また、社会人として求められる常識や礼儀を実感するよい機会ともなるでしょう。成蹊大学では下記の通りインターンシップ科目を開講し、インターンシップに関する支援を行っています。	
		■ 経済学部：インターンシップ準備セミナー（公共）、公共インターンシップ、インターンシップ準備セミナー（ビジネス）、ビジネスインターンシップ ■ 法学部：インターンシップⅠ・Ⅱ ■ 文学部：インターンシップⅠa・Ⅰb・ⅡA・ⅡB ■ 経済学研究科、経営学研究科：経済経営インターンシップ1・2	
		10月	【学部別就職メインガイダンス】 就職に対する心構えを身に付け、万全な就職活動を行うにあたり、今年度の就職状況、来年度の見通し、就職活動に向けた心構えや進め方などを紹介します。
			【就職講演会】 自己分析の進め方や業界・企業事情の理解をテーマとする講演会を開催して、就職活動準備を支援します。昨年度は、「企業は学生に何を求めているのか」、「働くということ」、「特別区（東京23区）採用試験制度説明会」、「国家公務員採用試験制度説明会」、「OB・OGによる就職活動アドバイス」などのテーマで、様々な講演会を実施しました。
		11月	【グループガイダンス】 グループガイダンスは、就職活動に向けた意識の高揚を図るとともに、個別相談の利用を促進するための、他大学にない成蹊独自の取り組みです。このガイダンスでは、学生を10～15名程度の少人数のグループに分けて、働くことの意義から始まり、キャリア支援センター利用の意義、就職活動の具体的な進め方などを、各学部相談担当者が1グループに対して約1時間ずつレクチャーします。
			【各種模擬テスト】 多くの企業が実施している筆記試験の模擬テストを実施し、自分の弱点を確認し、本番に備えての練習となる機会を提供します。実施するテストは、一般常識・時事問題、SPI試験対策、エントリーシート対策模試、事務処理能力試験等です。
		12月	【就職活動体験報告会】 就職活動を目前に控えた3年生に向け、就職内定者が体験談を紹介し、各業界の企業に内定した4年生の先輩たちから、直接、具体的な就職活動の実践例を説明してもらうことにより、就職に対する視野の拡大を促します。
			【個別相談】 就職支援の柱としている個別相談では、求人紹介、エントリーシートや履歴書の書き方、面接の指導をはじめ、就職・進路に関するあらゆる相談に対して、就職を希望する全学生が納得いく結果が出るまで、同じ担当者が学生の活動状況に即した相談を終始一貫継続して行っています。
		1月	【Job Hunter（就職情報検索システム）】 このシステムは、キャリア支援センターに集積した求人・企業・卒業生の各データを成蹊大学の学生に限定して提供するもので、成蹊大学オリジナルの情報を容易に活用していただき、就職活動を効率的に行うことを可能にしています。
		2月	【学内企業セミナー】 日本を代表する約90社の人事担当者やOB・OGを招き、開催する講演会形式の説明会です。各業界・企業の現状や将来展望、求める人材などを直接質問できる機会を提供します。

キャリア支援センター 利用案内

電話 0422-37-3543 / FAX 0422-37-3873

e-mail job@jim.seikei.ac.jp

□ 業務時間

月曜～金曜 9:00～17:00（休休み11:30～12:30）

土曜 9:00～12:00（日曜、祝日休み）

□ 利用時間

○ 個人別就職相談（月曜～金曜）

午前 9:00～11:30（受付11:00まで）／午後 12:30～16:00（受付15:00まで）

○ 資料室・パソコン室（月曜～土曜）

月曜～金曜 9:00～17:00（※2月～6月は19:00まで）／土曜 9:00～12:00

（行事等の関係で時間変更となることもありますので、適宜「お知らせ」や学内掲示板を確認して下さい。）

2005年度決算および事業報告について

学校法人成蹊学園の2005年度決算は、学園監事および公認会計士の監査を受け、5月31日の理事会・評議員会において、確定いたしました。2005年度の消費収支のバランスを表す消費収支計算書(第1表)についての概要は、次の通りです。

納付金、手数料、補助金、資産運用収入などの本学園に帰属する「帰属収入」は合計で153億83百万円となりました。また、「基本金組入額」の合計は27億98百万円となり、うち第1号基本金は、2005年度に建設・購入等により取得した、建物、建設仮勘定、機器備品、図書等の資産分として11億49百万円、第2号基本金は将来の校舎取得等を目的とした施設設備整備資金の積上げに係る計画組入分の16億円、第3号基本金は奨学基金等の積上げ分の49百万円となっています。

帰属収入からこの基本金組入額を控除した額が、消費(支出)に充当できる「消費収入」で、その額は125億85百万円となりました。

一方、教職員の人件費、教育研究・管理経費(減価償却額を含む)、借入金利息等の「消費支出」の合計は、131億33百万円となり、この結果、消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、5億48百万円の消費支出超過となりました。

消費収支計算書の主な増加・減少要因等は次の通りです。

- 納付金は帰属収入に占める最大の収入要因であり、その割合は約72%となりました。
- 手数料の減少は大学の一般入試の志願者数の減少のためです。
- 教育研究経費は光熱水費の節減等により減少しました。
- 私立学校会計基準の改正により、第1号基本金の取崩しがあり、基本金組入額が減少しました。
- 当年度の収支差額は21億64百万円を見込んでおりましたが、帰属収入が1億23百万円増加したこと、消費支出が6億6百万円減少したこと、および基本金組入額が8億87百万円減少したことから、5億48百万円の消費支出超過にとどまりました。

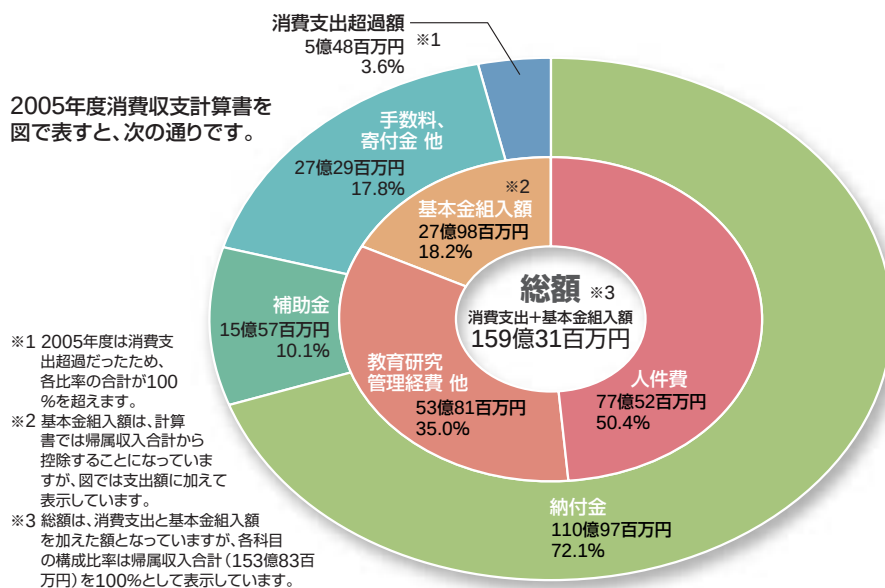
第2表の資金収支計算書は、教育研究など学園全体の諸活動に伴う資金の動きがすべて網羅されています。総額は302億21百万円となり、次年度繰越支払資金は85億17百万円となりました。

2005年度に実施した主な事業は次の通りです。

大学院整備・学部改編

- 成蹊大学法科大学院は、67名のうち半数以上が社会人という第2学年在学生の構成や24時間利用できる学習施設といった独特な学習・教育環境の下で、2年目の学生指導が滞りなく進められ、2006年3月には、法務専攻2年履修生27名のうちから25名の修了生が誕生しまし

2005年度消費収支計算書を
図で表すと、次の通りです。



た。修了率93%は、学生指導内容についての信頼度を高めるものであり、新司法試験の合格発表が待たれます。また、こうした多くの社会人学生の学習環境の便宜を図るため、丸の内地区にサテライトオフィスを開設し、2006年度から使用するための準備を進めました。本校で行われている夜間の授業を専用通信回線で同時中継し、双方向での学習機会を提供するための設備を用意しました。また、常時開設し、学生の情報交換、共同学習の場として、利用することができます。

- 2005年度、工学部が物質生命理工学科、情報科学科、エレクトロメカニクス学科の3学科からなる理工学部に変更されました。理工学部の新たなカリキュラムに合わせた学生実験用設備・装置を整備しました。

創立100周年記念事業

- 創立100周年記念事業の大きな柱となる「情報図書館」は、大学の後期授業開始に合わせ、2006年9月21日に開館の予定です。利用開始に向けて、開館準備が順調に進んでいます。多彩な情報機能を備えた地上5階、地下2階、収蔵冊数120万~150万冊の図書館の開設は教育・研究の推進に大きな期待がかかります。
- 中学・高等学校施設の再開発は、具体的な構想の検討が終わり、2006年7月に着工しました。
- 小学校施設の再開発は、2007年度着工を予定している教室棟の建築計画について基本構想がまとまりました。また、2005年度から1年生から3年生までの各学年で、より細やかな学級指導を実現するため28人4学級体制が始まりました。
- 学園環境整備事業として、中高および学園グ

ラウンド周辺沿道の緑化、小学校・中高・大学の体育施設の整備を具体化するための諸調査を実施しました。

研究活動の高度化および産学連携

- 大学院工学研究科「ハイテク・リサーチ・センター事業」
文部科学省が推進する私立大学学術研究高度化推進事業の研究助成金を受けてスタートした、大学院工学研究科の研究機関であるハイテク・リサーチ・センター事業は、3つの研究プロジェクトを5カ年計画で進める2年目の事業展開において、初めて発明譲渡契約が成約するなど、着実な研究活動が進められました。
- 外部資金の獲得
環境省からの受託研究費として、地球環境研究総合推進費を受け入れた他、企業および団体等からの受託研究費、寄付金の受入れがありました。

学習・教育環境の整備

- 学習・教育環境を整えるため大学視聴覚教室設備の更新・保守
- 大学14号館パソコン教室のクライアントサーバーシステムのシステム更新
- 中高第1体育館、第2体育館防水および塗装の劣化のため外壁改修、屋根補修
- 竣工後31年を経過した戸田艇庫の改修
- 南バレー兼テニスコートの人工芝化
- 小学校の28人学級に対応するため箱根寮の改修
- アスベスト調査を実施し、災害発生時の剥落に備え、小学校中央館玄関天井部分の裏打ち石綿断熱材を除去

第1表【消費収支計算書】

2005(平成17)年4月1日から2006(平成18)年3月31日まで

(単位:百万円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	11,120	11,097	△ 23
手数料	721	658	△ 63
寄付金	396	404	8
補助金	1,388	1,557	169
資産運用収入	342	398	56
資産売却差額	592	594	2
事業収入	256	250	△ 6
雑収入	445	425	△ 20
帰属収入合計	15,260	15,383	123
基本金組入額合計	△ 3,685	△ 2,798	887
消費収入の部合計	11,575	12,585	1,010
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	7,989	7,752	△ 237
(教職員等人件費)	(7,618)	(7,453)	(△ 165)
(退職給与引当金繰入額)	(371)	(299)	(△ 72)
教育研究経費	4,581	4,351	△ 230
(うち減価償却額)	(1,769)	(1,785)	(16)
管理経費	915	901	△ 14
(うち減価償却額)	(189)	(174)	(△ 15)
借入金等利息	65	65	0
資産処分差額	2	51	49
徴収不能引当金繰入額	16	6	△ 10
徴収不能額	0	7	7
〔予備費〕	(59)		△ 171
	171		
消費支出の部合計	13,739	13,133	△ 606
当年度消費収支差額	△ 2,164	△ 548	
前年度繰越消費収支差額	△ 126	△ 126	
次年度繰越消費収支差額	△ 2,290	△ 674	

第2表【資金収支計算書】

2005(平成17)年4月1日から2006(平成18)年3月31日まで

(単位:百万円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	11,120	11,097	△ 23
手数料収入	721	658	△ 63
寄付金収入	396	395	△ 1
補助金収入	1,388	1,557	169
資産運用収入	342	398	56
資産売却収入	1,087	1,589	502
事業収入	256	250	△ 6
雑収入	445	425	△ 20
借入金等収入	0	2	2
前受金収入	2,014	2,472	458
その他の収入	6,421	6,358	△ 63
資金収入調整勘定	△ 3,131	△ 3,066	65
前年度繰越支払資金	8,086	8,086	
収入の部合計	29,145	30,221	1,076
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	8,320	8,011	△ 309
(教職員等人件費支出)	(7,618)	(7,453)	(△ 165)
(退職金支出)	(702)	(558)	(△ 144)
教育研究経費	2,812	2,566	△ 246
管理経費支出	727	727	0
借入金等利息支出	65	65	0
借入金等返済支出	172	173	1
施設関係支出	3,226	3,159	△ 67
設備関係支出	406	405	△ 1
資産運用支出	6,141	6,601	460
その他の支出	680	690	10
〔予備費〕	(151)		△ 199
	199		
資金支出調整勘定	△ 556	△ 693	△ 137
次年度繰越支払資金	6,953	8,517	1,564
支出の部合計	29,145	30,221	1,076

第3表【貸借対照表】

2006(平成18)年3月31日

(単位:百万円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	76,171	68,687	7,484	
有形固定資産	42,020	40,448	1,572	
土地	6,111	6,111	0	
建物・構築物	26,359	27,711	△ 1,352	
教育研究用・その他の機器備品	1,645	1,847	△ 202	
図書	4,507	4,322	185	
その他	5	1	4	
建設仮勘定	3,393	456	2,937	
その他の固定資産	34,151	28,239	5,912	
有価証券	7,356	373	6,983	
特定資産	26,466	27,573	△ 1,107	
その他	329	293	36	
流動資産	9,832	15,486	△ 5,654	
現金預金	8,517	8,086	431	
有価証券	799	6,744	△ 5,945	
その他	516	656	△ 140	
資産の部合計	86,003	84,173	1,830	

(単位:百万円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	6,704	7,054	△ 350
長期借入金	1,036	1,207	△ 171
長期未払金	80	0	80
退職給与引当金	5,588	5,847	△ 259
流動負債	3,401	3,470	△ 69
前受金	2,473	2,569	△ 96
その他	928	901	27
負債の部合計	10,105	10,524	△ 419
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	63,765	61,216	2,549
第2号基本金	3,843	3,643	200
第3号基本金	7,880	7,832	48
第4号基本金	1,084	1,084	0
基本金の部合計	76,572	73,775	2,797
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
次年度繰越消費収支差額	△ 674	△ 126	△ 548
消費収支差額の部合計	△ 674	△ 126	△ 548
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	86,003	84,173	1,830

桃李の人々

第 10 回

近い将来、日本のトップリーダーとしての活躍が期待されているのが、
内閣官房長官を務める安倍晋三衆議院議員です。
小学校から大学まで、成蹊学園で学ばれた安倍さんに、
当時の思い出を語っていただきました。



安倍 晋三

Shinzo Abe

衆議院議員・内閣官房長官

ゼミナールにクラブ活動、
時には友人たちと議論を戦わせたり、
かけがえのない四年間でした

祖父・岸信介元首相が 成蹊学園の教育に共鳴

——小学校から大学まで成蹊学園で学ばれていますが、どのような理由で選ばれたのでしょうか。

安倍 兄も私も、そろって小学校から成蹊学園に通いました。実は、私たちが成蹊学園で学ばせるように、強く推奨したのは、祖父の岸信介だったと聞いています。長州出身の祖父は、吉田松陰を尊敬しており、その高潔な人格に触れて、多くの志士が巣立った松下村塾を、教育の理想形と考えていたようです。そのため、同様の私塾的精神を持つ成蹊学園の教育に共鳴していたのです。

また、母・洋子がかつて吉祥寺に住んでいて、櫛並木を散歩したこともあったそうですし、親戚の一人が成蹊学園で教員をしてお

り、身近に感じていたことも要因だったでしょう。知識詰め込み型でなく、个性的で創造性豊かな人材を育成する「人間教育」に力を注ぐ教育方針にも好感を持っていたと思います。

——実際に入学してみてもの印象はいかがでしたか。

安倍 キャンパスの美しさは忘れがたいですね。とくに、あの櫛並木。詩人の金子光晴さんが「あけやきはいい。けやきの落葉したあとの幹や梢が軽金属の激しさで、青さで、冬の寒空に沈んで、響いている……」という詩を詠んでいます。この詩に出てくる櫛が、自分が通っている学校の櫛だと知った時は、とてもうれしく感じました。そうした武蔵野の素晴らしい自然の中で、伸び伸びと学ぶことができました。

また、当時から成蹊学園では活

発な国際交流が展開されていました。海外からの留学生も多いし、国際学級（帰国生対象のクラス）も設けられていました。それらの友人たちとの交流を通して、異文化に触れ、国ごとに多様な考え方や感性があるということを感じることができました。

さらに、成蹊学園の先生方は、生徒と直に触れ合って、教科だけでなく、人生にとって必要なことを教えるという気概に溢れていた気がします。それこそが、祖父の望んだ教育だったと思います。

ゼミナール活動を通して 幅広い視野を養成

——大学時代のこと、最も印象に残っていることは何ですか。

安倍 大学の四年間は、とても充実しており、私にとってかけがえ

のない貴重な時間でした。とくに印象に残っているのがゼミナールです。成蹊大学は少人数制のゼミ教育を重視しており、バラエティーに富んだテーマのゼミが開講されていました。私も複数のゼミに所属しました。

その一つが、佐藤竺ゼミです。佐藤先生は法学部政治学科の看板教授の一人で、地方行政の専門家でした。先生が主張されていたのは、地方自治の自主性でした。けれども、そこでネックになるのは、地方行政の自主財源が限られていることです。現在は国六割・地方四割といわれていますが、当時はさらに厳しく、地方は三割程度の財源しか有していませんでした。今でも、残念ながらこの問題は解決されていません。そこで小泉内閣では、地方分権と、国・地方の行財政改革のために「国の



安倍 晋三 (あべ・しんぞう)

1954年生まれ。1977年、成蹊大学法学部政治学科を卒業、神戸製鋼所(ニューヨーク事務所、加古川製鉄所、東京本社)勤務を経て、父・晋太郎代議士のもとで秘書を務める。1993年、衆議院議員選挙に初当選。自由民主党社会部会長、幹事長などを歴任し、現在、内閣官房長官。

自治体への補助金の削減「地方交付税の縮減」「国から地方への税源の委譲」を同時進行で行う「三位一体の改革」を推進しています。その意味では、佐藤ゼミは、将来を見通したテーマに取り組んでいるゼミだったわけで、先見の明のある先生だったと思います。

——そのほか、どのようなゼミを受講されたのですか。

安倍 ヨーロッパにおけるファシズム、とくにナチズムを研究しておられた村瀬興雄先生のゼミに所属しました。とても温厚な先生でし

た。村瀬先生はよく「成蹊学園の出身者は、よく言えば、他人を押し退けて自己主張するタイプの者が少ない。でも、それは悪く言えば、のんびりしすぎているということでもある。だから、諸君は多少の批判など恐れずに、果敢に自己主張した方がいいのではないかと。最近、この言葉を感慨深く思い出します。

鶴飼信成先生の法学の講義も

印象的でした。ユニークなゼミで、『ベニスの商人』編集部注…あらすじは、ユダヤ人高利貸しシャイロックが、キリスト教徒のアントニオに金を貸した際、期限までに返さなかったら、自分の体から一ポンドの肉を切り取って与えなければならぬという証文を交わす。返却が期限に間に合わなかったため、アントニオの肉一ポンドを要求するシャイロックに対し、裁判で「肉はとつてもいいが、血を流してはいけない」との判決が出るといふもの(を素材として、講義されました。この小説で、シャイロックは食欲で残酷な商人として指弾されています。けれども、鶴飼先生は、見方を変えれば、肉体を切り刻んだ際に血が流れないわけがない。その意味では、最初に結んだ契約書の段階で、シャイロックはだまされていたことになるのではないかと。さらには、シャイロックはユダヤ人のステレオタイプとして描かれている。ユダヤ人とはずるい商人だという先入観が根底にある。それを排除して読んでみれば、また違う物の見方ができるのではないかと指摘されました。なるほど、物事を見る時には、いろんな立場があるし、できるだけ多様な角度から見ることがあるのだなということを感じさせられました。

正直なところ、授業の本身そのものは、もうあまり覚えていませんが(笑)、こうした折にふれて先生がおっしゃられた言葉は、不思議と記憶に残っているものです。

体力と集中力が鍛えられたアーチェリー部

——大学では、アーチェリー部に所属されていますね。

安倍 高校までは文化系のクラブだったのですが、大学では少し体を鍛えたいと思い、運動部に入部することにしました。とはいえ、ほとんどの運動部は、高校からやっていた者でないと、まったく通用しません。ビギナーでも同じスタートラインに立てるスポーツはないかと探しました。たまたま友人から誘われたこともあって、アーチェリー部に入部することにしました。

——練習はかなりハードだったのですか。

安倍 入部前は、練習は週三日と聞いていたので、何とかついていけるだろうと軽く考えていました。ところが、入部して、あまりのハードさに驚きました。同好会ではなく、正規の体育会系クラブですから、当たり前のことだったのですが……。週三日の練習なんて、入部させるための甘い誘い文句にすぎませんでした(笑)。気が

つくと、土・日曜日も含めて毎日、ランニングや筋力トレーニングなどの練習漬けでした。

——アーチェリーの魅力はどんなところでしょうか。

安倍 アーチェリーでは、もちろん肉体を鍛えることも大切ですが、それ以上に集中力が要求されます。私は選手としては三流でしたが、それでも、心を鍛え、集中力を研ぎ澄まし、プレッシャーに打ち勝って、試合で金的を射止めた時の快感は、体にしみついています。

また、大学のアーチェリーの公式戦は、八名による団体戦で行われるところも特徴です。お互いにカバーしあうチームワークと連帯力が勝敗のカギを握るところに魅力を感じました。

——クラブ活動のどのような点が有意義だったと考えていらっしゃいますか。

安倍 厳しい練習を四年間積み重ねたことで、体力に自信が付きましたし、皆で同じ目標に向かって頑張る喜びも味わうことができました。しごきなどはまったくないクラブでしたが、ほどよい上下関係や規律がありました。当時の仲間とは、強い絆と連帯感を感じており、今でも年三回は集まって、飲み会を開いています。何の

気兼ねもなく、楽しい一時を過ごせる魅力は何ものにも変えがたく、どんなに忙しい時でも、できるだけ時間を作って参加するようにしています。

——学校行事で印象に残っていることはありますか。

安倍 大学四年生の時に、樺祭にアーチェリー部でおでん屋を出店しました。食べ物を扱うのはなかなか難しいもので、出そうとしたネタがうまく作れず、苦労しました(笑)。最終的にはたくさんのお客さんが入り、一安心しましたが、そんな経験も印象に残っていますね。

居酒屋や喫茶店で友人たちと時事問題を議論

——政治家を志そうと思われたのは、いつ頃からですか。

安倍 いつからと明確に言うことは難しいのですが、大学時代にはすでに政治の世界に興味を抱いていました。

キャンパス周辺の居酒屋や喫茶店で、友人たちと、時事問題について議論を戦わせたこともよくあります。当時は、都政も武蔵野市政も革新系の時代で、典型的なバラマキ行政が行われていました。高福祉という聞こえはいいのですが、本来、それを実現するには、

負担と給付が表裏一体でなければならぬはず。給付だけを先行した形で行うのは、いずれ大変な歪みを生んでしまうのではないかと。そんな私の疑問、批判的な考え方は、当時の革新系自治体チームの中では異色であり、なかなか受け入れてもらえない面もありましたが、必死で持論を展開したことを懐かしく思い出します。

「桃李不言下自成蹊」の精神を大切にしたい

——成蹊学園で学んだことが、今につながっていると感じられることはありますか。

安倍 少人数制の学校ですから、生涯を通じて付き合える友人を作りやすい環境にあります。私も、アーチェリー部の仲間をはじめとして、たくさんの方の素晴らしい友人たちに恵まれました。それが貴重な財産になっています。

また、成蹊の名前の由来である「桃李不言下自成蹊」は、私にとって、いわば座右の銘のようなものになっています。桃や李は、口に出してものを言うわけではないが、美しい花やおいしい実があることで、自然に人が集まり、そこに蹊(こみち)ができる……優れた人格の人の周囲には、自然と慕う人々が集まるという意味ですね。

人に対して威張ったり、地位を利用して従わせようとするのではなく、まずは自分の人格や魅力を磨くことが大切なのです。私も、なかなかその境地まで達していませんが、政治家として、この成蹊の精神は大切にしていきたいと考えています。

——最後に、今後の成蹊学園に期待されることをお聞かせ下さい。

安倍 私は、成蹊学園には様々な強みがあると思っています。たとえば、三菱グループをはじめとする産業界との連携が強いことも、その一つでしょう。また、アットホームな雰囲気のもとで学んだ成蹊OBの人物、人格には安心感があります。政界でも、OB同士の信頼関係は深く、他大学出身者では考えられないほどです(笑)。

少子化の進行や、多様な学校評価制度の導入などによって、大学を取り巻く環境は、ますます厳しいものになっています。今後の大学には、自らのコンセプト、特色を鮮明に打ち出していくことが求められるでしょう。成蹊学園には、この厳しい時代を乗り越えるために、より充実した教育基盤を確立してほしいと願っていますし、それだけのパワーを有している学園だという確信も持っています。

(インタビュアー／広報課 伊藤昌弘)

データに見る 成蹊大学の实力

朝日新聞社では、毎年「大学ランキング」を発行しており、様々な角度から大学の評価を行っています。評価項目は多岐におよびますが、成蹊大学はほぼすべての項目に登場しています。

「2007年版大学ランキング」の成蹊大学の登場項目は以下の通りです。

■ 満足度

～「高校教諭からの総合評価」は全国で21位、関東では10位～

高校からの評価	総合評価	全国	21位
		関東	10位
	生徒に勧めたい		26位
	進学した先でのびのびと学んでいる		20位
学生の満足度	広報活動が熱心		51位
	教養教育		19位
	施設、設備		30位
	学生数		24位
	パソコン、インターネットの利用		4位
	情報処理教育		33位
	進路支援		14位

■ 入試

～全国トップレベルの高倍率～

一般入試の倍率	法学部	4位 (5.8倍)
	経済、経営、商学部	3位 (7.2倍)
	文、外国語学部	6位 (5.6倍)
AO入試	入学者	30位 (183人)
	総合	89位 (73点)
Webサイト	教育内容、学生生活	75位 (47点)
	参加者	19位 (11,500人)
オープンキャンパス	参加者の倍率 (入学定員を基準)	9位 (7.2倍)

■ 就職

～「就職に強い」成蹊大学～

企業からの評価	役に立つ大学	総合	62位
		就職支援に熱心	30位
	大学出世力	総合	40位
	役員・管理職数	マスコミ	12位 (10人)
資格・採用試験	司法試験合格者		37位 (3人)

■ 教育

～「大学図書館」総合9位～

大学図書館	総合(学生1人あたりの数値)		9位
国際ボランティア	参加学生(2000～2005年)		36位(12人)
海外留学制度	学生の交流	留学生派遣	18位(47人)
女子学生	学部別比較	文、外国語学部	14位(81.4%)
教員の 博士号取得比率	法学部		34位(9人、25.0%)
	工、理工学部		32位(47人、92.2%)
新設大学 (1996～2005設立)	新設学部の倍率(2005年度入試)		33位(4.0倍)

■ 生活

～「女性ファッション誌への学生登場数」

総合15位、オシャレな成蹊大生～

部、サークル活動	活動団体数	29位 (162団体)
学生食堂	学生からの評価	90位
女性ファッション誌への学生登場	CanCam	7位 (53人)
	ViVi	15位 (14人)
	JJ	15位 (33人)
	4誌 (CanCam、ViVi、JJ、Ray) 合計	15位 (125人)
	女子学生の登場比率	15位 (3.5%)

■ 研究

～「国際経済学術誌への論文掲載数」総合16位～

国際経済学術誌	総合 (1976～2005年)	16位
財団の研究助成	経済、経営、商学系	6位

■ 社会

～「直木賞作家OB・OG数」7位～

メディアへの 発信度	大学全体 (2001～2005年)		50位
	法律誌 (2001～2005年)	学部研究など	21位 (法学部)
	総合 (1996～2005年)	学部研究など	22位 (経済学部)
		教員	7位 (経済学部 新村秀一)
国会議員の 出身大学	全国会議員		31位 (2人)
社長の 出身大学	一部上場		22位 (12人)
	二部上場		20位 (5人)
	外資系		24位 (8人)
	未上場		44位 (1,388人)
	JASDAQ上場		13位 (9人)
	女性 (社員10人以上)		23位 (17人)
	設立3年以内		24位 (36人)
女性アナウンサーの 出身大学	主な放送局		16位 (3人)
OB・OG	直木賞作家 (1985～2005年)		7位 (5人)
同窓会	会員数		54位 (74,000人)

寄付のインターネット受付による クレジットカード決済を開始しました

インターネット受付によるクレジットカード決済で寄付をしていただくことが出来るようになりました。
ご自宅のパソコンで簡単にお手続きできますので、ぜひともご利用下さい。



1. 成蹊学園トップページ
(<http://www.seikei.ac.jp>)を開いていただき、画面右上にある「100周年記念事業募金」のボタンをクリックして下さい。



2. 100周年記念事業ページの左下にある「インターネットによる募金のお申し込みはこちら」のボタンをクリックして下さい。



3. 募金方法ページ「インターネット申し込みによるクレジットカード決済」項目の「インターネット申込み詳細」をクリックして下さい。



4. 「インターネット申込によるクレジットカード決済のご案内」ページが表示されますので、こちらでお試しください。

～ご利用にあたって～

- クレジットカード決済は、個人の方のみご利用いただけます。（法人・団体でのご寄付をご希望の場合は、誠にお手数ですが募金局までお問い合わせ下さい。）
- クレジットカードは、ご本人以外ご利用いただけません。
- ご寄付者名とカード名義人が同一である必要があります。
- ご利用いただけるカードは、DCカード・ビザカード・マスターカードです。

「芳名録」「寄付者銘板」等への掲載について

ご寄付をいただいた方全員のお名前を成蹊学園からの発行誌で順次発表させていただきます。また「成蹊学園創立100周年記念事業募金寄付者銘板」にするし、末永く顕彰させていただきます。（いずれも匿名を希望される場合はご意向に従い取り扱わせていただきます）



募金記念について

全員の方に「金のしおり」を差し上げております。また、ご寄付額により、『中村春二評伝DVD』や『箱根寮宿泊ご招待券』を差し上げております。



箱根寮

■お問い合わせ

成蹊学園
創立100周年記念事業募金局
TEL：(0422) 37-3941
Email：fund@jim.seikei.ac.jp

SEIKEI 架け橋プロジェクト第二弾 「学長オフィスアワー」開設

昨 年十一月より「学生満足度の向上」「学生生活の大学運営への活用」を目的にスタートした、学長と成蹊生の交流プログラム「SEIKEI架け橋プロジェクト」の第二弾として、今年四月より「学長オフィスアワー」を開設しました。

この学長オフィスアワーは、学長と学生が気軽に交流できる時間として設けられ、毎月一回学長室にて開催されます。参加希望者は学生証持参のうえ、開催時間中に学長秘書室を訪ねます。

本学に学ぶ学生なら誰でも参加することができ、ワンキャンパスに文系から理系、学部から法科大学院、また正規生から聴講生が共に学ぶ成蹊らしさを活かすために、特に事前申し込みなどは行わず、その場にいあわせた学生すべてと学長が自由な意見交換を行える制度となっています。



います。そのため、テーマを設けることはせず、大学生生活や将来のことなど、ざっくばらんに話すことのできる環境づくりを意識しています。

第一回開催日となった、四月十八日のオフィスアワーでは、大学院生、聴講生を含む計五名の参加があり、学生支援や履修などについて活発な意見交換が行われました。

また、第二回開催日となった、五月二十日のオフィスアワーには、成蹊大学新聞会の参加があり、オフィスアワー開設の経緯や、オフィスアワーで聞かれた学生の声に対するその後の取り組みなどについて質問がありました。その模様は成蹊大学新聞第二五二号小特集「SEIKEI架け橋プロジェクト 学長オフィスアワーを考える」というコーナーにも取り上げられています。

本学としては、「SEIKEI架け橋プロジェクト」の第一弾として設置した「学長意見箱（愛称学長直行便）」、またこのたび開設した学長オフィスアワー、

両制度の充実を図るとともに、今後も引き続き「SEIKEI架け橋プロジェクト」を推進し、学生本位の大学運営を目指していきます。詳細については、下記ホームページを



ご覧下さい。

<http://www.seikai.ac.jp/university/kikaku/kakeshin/>

「国際交流実践授業」の実施

文 学部国際文化学科では、「各地域や民族の文化について学び、世界的視野を獲得する」「国際社会で活躍できる基本的能力を強化する」という教育

の特色をよりよく実現するため、今年度、連続企画「国際交流セミナー」を実施しています。その一環として、四月二十八日、五月二十六日の二日間にわたり、「国際交流実践授業」が行われました。

国際交流実践授業は、国際文化学科の学生の「成蹊に学びにきている留学生と、授業の中でもっと交流したい」という声がかきつけで考案されたものです。日本人学生と外国人学生が数名

ずつのグループに分かれ、一つのテーマに沿って共同で調査・ディスカッションを行い、成果を報告するセミナー形式で行われます。最初の試みである今回は、「日本の社会現象」という大きな枠組みを設定し、その中で学生たちが自由にテーマを選びました。五月に行われたプレゼンテーションでは、六カ国出身の外国人学生と同数の日本人学生の混成による四グループが、「ニート・フリーター問題」「日本のお受験」などユニークなテーマのもと、出身国の事情や成蹊生の身近な事例を交えながら、力のこもった発表を行いました。

「授業」という名称ではありませんが、大学の正規の授業科目ではなく、国際教育センター日本語講師の深谷久美子先生の協力により、同先生の上級日本語クラスを日本人学生有志が訪問する形で行われています。プレゼンテーションに向けた調査やデ



ィスカッションなどは、授業の合間を利用し、学生たちが自主的に集まって行います。同じキャンパスで過ごしなが、普段一緒に授業を受ける機会がほとんどない留学生と日本人学生たちですが、こうして共に学び、議論することで、お互いの国や考え方を知り、友人関係を育んでいます。

国際交流セミナーは、企画の立案・実施を、教員と学生が共同で行うことを特徴としています。今回の国際交流実践授業では、学生実行委員が、全体テーマの設定から会場の設営、当日の司会進行まですべてを、教員と相談しその助言を受けながら担いました。国際交流セミナーでは、後期にも同様の形でこの「授業」を実施するほか、スリランカをテーマとした講演会・映画上映会などを、学生の協力を得て行う予定です。今回の連続企画が、教員と学生とのコミュニケーション、学生の学習意欲や社会的自覚を促し、成蹊の「全人教育」に資するものとなればと願う次第です。

理工学部主催講演会

理 工学部主催講演会が五月二十四日、総合科学技術会議議員、三菱重工業株式会社顧問の柘植綾夫氏をお迎えして行われました。

講演に先立ち廣田明彦理工学



部長より柘植氏の略歴と総合科学技術会議の紹介が行われました。同会議は、内閣総理大臣および内閣を補佐する「知恵の場」として、日本全体の科学技術を俯瞰し、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案、総合調整を行うことを目的として設立されました。小泉純一郎首相を議長に本学園出身の安倍晋三内閣官房長官、黒川清日本学術会議会長ら十四名の議員で原則月一回開催されています。

続いて「国づくりに結実する科学技術創造をめざして」と題し、科学と技術の発展が安全で安心な社会、豊かな文化と文明の創出に大きな役割を果たしていることや、今後さらに価値創造型ものづくり力をつけていくために必要な産学官連携構築の重要性などについてお話しいただきました。

また、産業界の視点から本学理工学部への期待と励ましもあり、理工学部生の略歴と総合科学技術会議の紹介が行われました。同会議は、内閣総理大臣および内閣を補佐する「知恵の場」として、日本全体の科学技術を俯瞰し、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案、総合調整を行うことを目的として設立されました。小泉純一郎首相を議長に本学園出身の安倍晋三内閣官房長官、黒川清日本学術会議会長ら十四名の議員で原則月一回開催されています。

り、理工学部生、大学院生を中心に一般参加者、教職員も加わり、約百二十名が聴講しました。

四大学運動競技大会



伝

統ある年間行事の一つ、成蹊・武蔵・成城・学習院の四大学で競い合う四大学運動競技大会(四大戦)。今年度の五十七回大会は十月二十日から二十二日まで学習院大学で開催されます。

四大戦は、体育会各部による「正式種目」、誰でも好きな種目に参加できる「一般種目」、教職員による「教職員種目」から構成されています。種目ごとに点数をつけていき、正式種目と一般種目の合計得点で総合優勝を争います。

正式種目については、すでに競技が行われており、体育会スキー部男子が見事に四年連続優勝を飾るなど健闘しています。今後の活躍にも期待したいと思います。

二〇〇六年度オープンキャンパス

今

年度のオープンキャンパスは、左記の通り開催されます。当日は、キャンパス見学ツアーや体験講義、成蹊大学ガイダンスなど、成蹊をより深く知るためのイベントが多数行われます。教職員や在学生と直接触れ合うチャンスも多く、成蹊の魅力と雰囲気を実感できる内容となっています。高校生をおもな対象としています。高校生をなたでも参加いただけます。

第一回

七月二十九日(土)・三十日(日)

第二回

九月十七日(日)・十八日(祝)

第三回

十一月二十五日(土)・二十六日(日)

(大学祭期間中)

各回とも十時より受付開始で、事前の申込みは不要です。時間内は入退場自由で十六時半受付終了予定です。なお、第三回は内容が異なります。

アジア太平洋研究センター設立二十五周年に向けて

ア

アジア太平洋研究センター(通称CAPS)は、本学唯一の常設研究機関として、一九八一年四月から今日まで二十五年の歴史を刻んでまいりました。初代所長の川口浩・法学部教授が「小さな旗揚げ」と呼んだ

学位授与式 3月18日



第一歩は確実な歩みを続け、これまで大きな足跡を残してきました。

今年度、CAPSでは二十五周年を迎えるにあたり、秋に記念シンポジウムを予定しています。このシンポジウムでは、講演会やパネルディスカッションなどを多数企画しています。ぜひ、在学生、卒業生やご父母の皆様、地域の皆様にもご参加いただき、活発な研究活動が繰り広げられればと期待しております。この機会にCAPSの二十五周年の活動を振り返りつつ、今後CAPSの果たすべき役割についても見直すきっかけとなれば

入学式 4月4日



とも考えます。詳細が決まりましたら、改めてホームページ等でご案内をいたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

また、CAPSではさらなる研究活動の進展と若手研究者の育成を目指し、新たな特別研究員制度を設け、特別研究員を採用することいたしました。今後の特別研究員の活躍にご期待ください。

《お問い合わせ》

アジア太平洋研究センター

電話 〇四二二一三七―三五四九

URL: <http://www.seikei.ac.jp/university/caps/>

入学式

一〇〇六年度の中・高の入学式は桜花もすつかり咲きそろった中、厳かに執り行われました。中学校は国際学級の編入者も含めて二百五十七名、高等学校は編入者一名、再入学者一名を含む三百三十二名の新生を代表して、世羅高大君と安達小春さんが力強く入学の言葉述べてくれました。



新入生歓迎会

四月十二日は新入生歓迎会を中・高共に実施しました。中学校ではまず、大教室で学校生活の寸劇を演じました。その後、生徒会長の挨拶や学校のルールなどの説明があり、いよいよ新学年の担任紹介です。自分のクラス以外の担任は知らない部分が多かったので、一年生にとっては興味津々、神妙に

聞き入っていました。

クラブ紹介は第一体育館で文化部・運動部各部が三分間のパフォーマンスを行いました。一年生は配られたパンフレットを見ながら、自分が入る部活を真剣に考えているようでした。中学では部活動の仮入部期間がありますので、しばらくの間、一年生は様々な部活動に参加して、自分に合う部活を検討することができそうです。

同日、高等学校でも新入生歓迎会が行われました。例年通り、生徒会が中心になって、生徒自身が企画したものです。

まず、新担任の紹介が行われました。若い活力もベテランも揃えた素晴らしいメンバーです。それぞれが一芸を披露し、一年生をわかせていました。

さらに、成蹊高生として、あるべき姿を知ってもらいたいと、今年は特別にパワーポイントを使用して、生徒会メンバーがわかりやすく説明を加えました。今年度の生徒会メンバーは、二年時に「総合」の授業を受けていたため、パワーポイントの使い方などは堂に入ったものでした。

その後、中学同様クラブ紹介が行われ、ビデオで自分たちの活動をアピールしたり、舞台上で熱心さを伝えようとはりきって演技したりしながら、成蹊高等学校独自の「自分たちで作り上

げる部活動」を一年生にわからせようとしている姿が見受けられました。

中学校遠足と高等学校体育大会

中学一・二年生は夏の学校の予行演習的要素を持つ遠足ですが、五月二日の天候は悪く、中一は雨天のため現地に集合して



から解散、中二も同じく陣馬登山口で解散しました。中三は修学旅行での班別行動を想定して実施しました。午前中は東京国立博物館の平成館と本館を見学し、午後は両国の江戸東京博物館を見学しました。途中で突然の雨に見舞われましたが、江戸の歴史・文化に接することで、京都・奈良との文化の違いを学習する手がかりになったと思います。

この日、高等学校では体育大会を実施する予定でしたが、開会式直前に雨が降り出し、二時間目から授業となりました。予備日の九日はコンディショニングも良く、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、ドッジボール、キックベース、卓球などの競技がクラス対抗で行われました。一年生は入学後初めて、二年生にとってもクラス替え後初めての行事で、大いに親睦を深めたことと思います。当日は中学の授業があり、使用施設に制限がありましたが、実行委員、体育科の尽力でプログラムは予定通り実施され、例年に比べ怪我人も少なく、終了しました。

中学校見学会・球技大会

中間試験が終わった翌日の六月一日には、中学一・二年生の見学会が行われました。一年生は南青山にある錬仙会能楽研究所において日本の伝統文



化の「能」と「狂言」を能舞台の空間で味わいました。能・狂言という古典芸能の歴史と魅力にふれ、日本の伝統的な文化を知

るとともに、「聴く」「見る」姿勢を身につけたことと思います。二年生は心理カウンセラーの林恭弘氏に「コミュニケーションと自己分析」という題目で学園本館大講堂において約二時間講演をしていただきました。「真我」の開発という三年間の教育目標のもとに、二年生では「思いやりと助け合い」という目標を立てています。この講演を聴いて自分自身を理解し、上手くコミュニケーションがとれるように、また、自己を見つめるきっかけとなればと思います。六月二日は一・二年生の球技大会が行われました。一年生は男子がキックベース、女子はドッジボール、二年生は男子がサッカーとソフトボール、女子はドッジボールでクラス対抗の競技に臨みました。

高等学校遠足

中 間試験が終わった翌日の六月二日、高校の遠足が行われました。この遠足では先に行われた体育大会同様、クラスの親睦を図ることを大きな目的としております。高校ではクラスごとに遠足委員が中心となり、立案、下見をし、出かけて行くというスタイルをとっております。今回の遠足は天候にも恵まれ、海、山、川などで楽しんだ後に、ほとんどのクラスがバーベキューをして有意義な一日を過ごしました。

中学校修学旅行

例 年通り五月二十九日から六月二日の四泊五日の日程で、中学三年生が参加して修学旅行を実施しました。一日目は新幹線で新大阪に向かい、奈良の法隆寺・中宮寺を見学後、若草山に登り、宿舎のホテル大和路に入りました。二日目は薬師寺・玄奘三蔵院・浄瑠璃寺を回り、奈良公園は班別で行動しました。三日目は源氏物語コー



ス(扇子づくり)・京の名庭コース(友禅染め)・最澄と空海コース(清水焼)の三つのコースに分かれ、それぞれ体験を積み、宿舎である洛兆に入りました。四日目は一日班別行動で嵯峨野・洛西・東山を散策しました。最終日は三十三間堂・清水寺を回り、午後の新幹線で帰京しました。この修学旅行では事前に国語や歴史、美術等の授業で学んだ史跡や建築物、仏像、美術品などに現地であふれることができ、日本の文化について、より一層の理解を深めたことと思います。

進学状況

今 年の成蹊大学への内部推薦者は卒業生三百三十三名のうち三八・七%の百二十九名でした。これは昨年度の百三名、一昨年の八十八名と比べて順調に伸びてきており、校長自ら生徒や保護者に向けて、成蹊大学の特徴や良さを説明し、一貫教育校ならではの高大協力体制が整いつつある結果であると思われる。

また、今年は国公立大学では東京大学へ三名、東京工業大学へ二名(浪人一名を含む)等全部で三十名(浪人九名を含む)が合格しました。現役での大学進学者は、内部推薦者も含めて二百三十六名、現役入学率は七〇・九%で、今後も一〇〇%を目指し、一層の努力を重ねる所存です。

文化部・運動部の活躍

● 中学女子バレー部

都大会(5月20日)出場決定
4月29日(祝)に第9ブロック春季大会が行われ、バレーボール部は第3位の好成績を収め、3年前の初出場以来、7大会連続で東京都中学校バレーボール大会出場を決めました。

● 中学校美術部

第51回全日本学生美術展において受賞
中学美術部員8名が第51回全日本学生美術展(主催:全日本学生美術会、後援:教育美術振興会)に油絵を出品し、応募総数7,322点の中から2名が佳作に選ばれ、6名が入選しました。2月13日～19日、東京都美術館において、受賞作品(佳作以上)の展覧会が開催されました。

● 中学硬式庭球部

東京都テニス選手権大会(個人の部)出場
開催日:5月13・14・20・21日
場 所:有明テニスの森

シングルス 1回戦

- ……山名杉太(3年)
- ……長谷厚志(3年)
- ……有我雄汰(2年)
- ……岡田直子(3年)
- ……莊司彩乃(3年)
- ……山野遼望(3年)
- ……山内亜子(2年)

シングルス 2回戦

- ……三國拓馬(3年)

シングルス 3回戦

- ……大谷将太郎(3年)
- ……中村慶大(3年)

ダブルス 1回戦

- ……國井(3年) 清水(3年) ペア
- ……山名(3年) 三浦(2年) ペア
- ……野川(3年) 角替(2年) ペア

ダブルス 3回戦

- ……三國(3年) 大谷(3年) ペア

ダブルス ベスト8

……長谷(3年) 中村(3年) ペア
※三國・大谷ペア、長谷・中村ペアは7月に行われる関東大会(個人戦)に出場します。

● 高校馬術部

全国大会出場決定
4月30日(日)に第57回関東高等学校馬術リーグ戦において準優勝し、関東地区代表の各校として第40回全日本高等学校馬術競技大会に出場することになりました。全国大会の日程は次の通りです。
場所:ノーザンホースパーク(北海道苫小牧市)
期間:7月21日(金)～23日(日)

● 高校3年 霍田 裕明

全国高等学校総合文化祭 囲碁部門に出場決定
8月5日(土)・6日(日)、京都市伏見区パルスプラザにおいて開催される全国高等学校総合文化祭(インターハイ)囲碁部門に、東京都代表の一人として出場します。

● 中学・高校演劇部

「第14回 はいすくうるドラマすべしやる」に出演
3月27日(月)～29日(水)、俳優座劇場において、第14回はいすくうるドラマすべしやるが開催され、演劇部は中高合同で、29日に「十二夜」を上演しました。
演目:「十二夜」(W.シェイクスピア 原作/宮本浩司脚色)

● 高校硬式庭球部

第46回東京都高等学校テニス選手権大会において男子団体が4位に入り、関東大会に出場。

● 高校ラグビー部

東京都高等学校春季ラグビーフットボール大会において準優勝し、関東大会に出場。

入学式のことば



五年生が。また、すばらしい音楽で迎えてくれた六年生が。成蹊小学校のみんなが、みなさんの入学を心から楽しみにしていたのです。

この、うれしい、うれしい入学式に、一つだけ大事なお話をいたしましょう。それは、成蹊のしるし、成蹊のマークのお話です。

成蹊のしるしは、桃の実と葉っぱを表しています。まるで、桃の葉が、桃の実を大事に、大事に、守っているように見えます。

桃の花を見つけた人は、きれいだなあと、ついついそばによって、桃の花を見てみたくなります。桃の実を見れば、もちろん食べてみたくなります。

成 蹊小学校は、四月五日に入学式を行いました。一年生百十二名、四年国際十二名、五年国際六名が、今年の新入生です。

あいにくの雨でしたが、元気な新入生を迎え、小学校は初めての一步をしつかりと踏み出しました。

学校長の話(一部)

百三十名の、びかびかの新入生のみなさん、入学おめでとう。今日から、みなさんは成蹊小学校の新しい仲間です。今日のみなさんの入学を、成蹊の先生方みんなで楽しみにしていました。

そして、さきほど、桜並木で、みなさんに「おめでとう」の拍手をして迎えてくれた二年生から

のご入学、誠にありがとうございます。心より喜び申し上げます。

本日、私も成蹊小学校の教職員は、皆様にとってかけがえない大切なお子様を、責任を持つてお預りいたします。

お子様は、家庭にあつては大事な大事な唯一無二の「わが子」であります。しかしながら、二十八人の少人数学級といえども、お子様は、その集団の中の一人です。

百三十のご家庭それぞれの大切な大切な「わが子」は、同時にまた、百二十九のご家庭にあつては「わが子」の友だちでもあります。

こうした、集団の中で、やさしい心とたしかな力を育んでいくという、成蹊小学校の教育をご理解いただくという意味で、私は「学校にあつては、わが子は、友だちの友だち」という言葉を、本日の結びといたします。



在校生歓迎の言葉(全文)

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい仲間を迎えることができて、私たちが在校生は、とてもうれしく思っています。

私たちはみな、この日を楽しみにしていました。

成蹊小学校は、緑豊かな学校です。

さきほどみなさんが通った桜並木は、五十年もの間、新入生を迎えてくれる立派な木たちです。他にも多くの木や草花があり、季節の移り変わりを僕たちに教えてくれています。様々な生き物もいます。これからたくさん見つけてください。成蹊小学校は、遊ぶ場所がたくさんある学校です。

ポプラグラウンド。リトルグラウンド。スパイダーネット。ターザンロープ。トンネル山。松林…。それぞれの場所でおもいっこ遊びてください。

成蹊小学校は、楽しい行事がたくさんある学校です。まずは春の遠足です。一年生

と六年生は、井の頭自然文化園に行きます。みなさんのおやつは、私たち六年生が準備しますので楽しみにして下さい。

五月には運動会があります。一年生のみなさんは、先生方と綱引きをします。私たちはもちろん、一年生のみなさんを応援します。力を合わせて、ぜひ先生方に勝ってください。

七月には夏の学校です。箱根で三日間過ごします。海賊船に乗ったり遠足に行ったりしますが、何より楽しいのは、寮の前の広場でおもいっこ走り回ることでしょう。

今日からみなさんは、私たちの仲間です。成蹊小学校の仲間です。

やさしくて愉快な先生方は、いろいろなことを教えて下さいます。給食室の方々は、毎日、おいしい給食を作って下さいます。事務室の方々も、様々なお世話をして下さいます。何も心配はいりません。

私たちと一緒に、新しい成蹊小学校の歴史を創っていきましょう。

六年西組 江藤晃一朗

Congratulation and
welcome to
Seikei elementary school.
We were very excited
about new
kids coming to our school.

国際学級四年生、五年生のみ
なさん。ご入学おめでとうござ
います。

(学校ってどんな所だろう)

(先生はやさしいかな)

(友だちはたくさん出来るかな)
などいろいろな不安もきつとあ
ることでしょう。

でも、その不安はきつとすぐ
なくなります。なぜなら、この
成蹊には楽しい行事がたくさん
あるからです。

みなさんは、その一つひとつ
を体験していきます。どうぞお
楽しみにしていて下さい。

Please enjoy the Seikei
School

Life and please have fun.

六年国際 松井 詩

勝ちとうろ

目の前にある

勝利と笑顔

運動会が予定されていた五
月二十七日も雨でした。



しかし、繰り延べて実施した二
十九日は、絶好のコンディション。
子どもたちが競技に演技にと、
大活躍しました。

平日にも関わらず、約千九百
名の来校者の熱い声援に大いに
盛り上がりました。

勝敗は白の三連勝となりました
たが、桃の会委員会の運動会ス
ローガン「勝ちとうろ」目の前に
ある「勝利と笑顔」を一人ひとりが
体現した運動会でした。

ところで、今年の始業式では、
子どもたちに校歌の二番の意味
を語りました。そして、練習の
始まりで、運動会では校歌の二
番を気持ちよく歌おうと呼びか
けました。

三年西組の新担任・川口真奈
加先生が、校歌の二番を学級で
指導したときのことを書いた子
どもの日記があります。学級通
信「ほのか」から、一つだけ紹介
します。

「ふくむなるほど
ね。だからうん
動会に、二番を出し
たのか」

僕は、つくづく思
った。

これは「校歌の
意味」を読んでいる
時の事だ。いつも
ただばくぜんと歌
っていたが、校歌に
はふか〜い、意味が

つまっているんだと、心のそ
こから思った。

うん動会で二きよく目を歌う
校長先生の心が僕には分かった
様な気がした。

さいしよの「昨日の吾を超え
し輝き尊し」とは、要するに昨
日の自分を越えた輝きは、すば
らしいものですという意味だ。
まさにうん動会にふさわしいき
よくだ。「がんばるぞ」という様
ないきごみが、かんじられるき
よくに僕はかん動した。

見た目は小さく見えても、中
身はすつしりといえいようがつま
つしている大豆の様に歌にも、ず
つしりと意味がこめられている
んだなあ〜と思うと、歌は僕た
ちにしげきをあたえてくれる物
なんだ。僕つていいこと言っ
た。 溝上雄太郎

微笑ましい締めくくりですが、
自分なりに「答え」を見つけ出し
て、納得して歌おうとする姿に、
昨日の吾を超える喜びを感じま
す。

登下校管理システムの導入

先号で、子どもたちの下校
に際して、教員や保護者
がパトロールや通学マナー指導を
実施していることをお知らせし
ました。

小学校では、学園の協力を得
て、六月からICタグによる登下
校管理システムを導入しました。



これは、右の写真のように、セ
ンサーにタグをかざすことで
個々の児童の登下校時刻を記録
し、リアルタイムで児童の状況を
チェックすると同時に、各家庭に
メール送信するシステムです。

このシステムは、緊急時に家
庭に一斉送信する機能も付加さ
れていますので、行事の有無や
学級閉鎖等の連絡にも活用する
ことが、今後期待されています。

夏の学校が始まりました

開校以来の伝統である「夏
の学校」が、今年もスター
トしました。

まず二年生が、六月六日から
九日まで箱根で過ごしました。

下山時の雷雨と雹に驚かされ
た屏風山登山、杉並木で大木の
周囲を計測しながらゆつくりと
歩いた恩賜公園ハイキング、クラ
スごとに樹木に隠されたキーワ
ードを発見して歩いた乗風台ウ
ォークラリーなど、盛りだくさ
んの行事にチャレンジした元気

な二年生でした。
体調不良で不参加となったり、
期間中の発熱のため寮で休養し
たりした子どもたちがいたこと
は残念なことですが、まずは安
全第一の夏の学校でありたいと
願います。

小学校の夏の学校は、毎年成
蹊OBである蹊医会のお世話で
医師および看護師を派遣してい
ただいています。また六年生の
水泳訓練では、成蹊高校・大学、
そして社会人による師範団が結
成されるなど、小学校の夏の学
校は、多くの先輩の皆様のご尽
力に支えられています。

○一年夏の学校(箱根)

七月十三日から十五日まで

○三年夏の学校(箱根)

七月十八日から二十二日まで

○五年夏の学校(磐梯高原)

七月十九日から二十四日まで

○六年夏の学校(岩井)

七月十九日から二十四日まで

○四年夏の学校(和田長浜)

九月八日から十二日まで



骨髄バンクドナー登録のすすめ

「本田美奈子」と「世界の中で、愛をさげふ」。両者に共通するのは血液がんである白血病。

この病気を根本的に治すためには、健康な骨髄が必要です。今、その健康な骨髄を得るのに最も行われているのが骨髄移植です。骨髄移植では、骨髄提供者（ドナー）の白血球型であるHLAが患者と一致しなければなりません。数百年から数万年の程度の確率です。そこで広く一般からドナーを募る骨髄バンクが必要となります。国内で骨髄移植を必要とする患者は、毎年約三千人以上。現在、骨髄バンクのドナー登録は約二十四万人。登録が三十万人になれば、希望するほとんどの患者に骨髄が見つかるといわれています。

では、ドナーの登録はどのような

に行われるのでしょうか？

登録は献血センターなどで行われ、約2mlの採血と問診で、全行程十五分程度で終了します。登録を済ませた後、ドナー

に選ばれる確率はおよそ二・四％（ドナー登録者四百十三人に一人程度です。ドナーに選ばれたとしても、何時でも辞退は可能です。あくまでも個人の意志が尊重されるのです。骨髄採取についても全身麻酔下で行われるので痛みは随分軽減されています。しかし、痛みが全くない訳ではありませんし、三〜五日の入院（一切費用はかかりませんが）も必要となります。ただ、安全性はかなり高いと言えます。詳細は骨髄移植財団のホームページをご覧ください。

骨髄移植が必要な病気には白血病以外に骨髄で血を造れなく

私は16歳の時に再生不良性貧血と診断されました。現在、大学4年生です。なんとか学生生活を過ごせているのは2週間に一度の輸血のおかげです。見知らぬ人の善意にいつも感謝しています。病気を完治させるために骨髄移植をする必要がありますが、まだドナーが見つかりません。骨髄移植を必要としドナーを待っている人は私以外にも沢山います。みんな生きるチャンスを待っています。一つでも多くの命が救われるように、骨髄バンクへのドナー登録を呼びかける活動を大学の仲間たちとしています。頑張りますので応援してください。



法学部 4年
高田 亜沙美 記

*「近代消防」2006年5月号より

なる「再生不良性貧血」があります。ガンではないので輸血によってしばらく症状をコントロールできますが、結局健康な骨髄が必要となります。

成蹊大学には、A-netという団体があり、代表者自身が再生不良性貧血の患者です。着実に忍び寄る恐怖、二週間に一度、善意で寄せられた輸血を受けながら、でも彼女は前向きです。自分も元気になったらやがては優しい母親になるという、ごく平凡な未来を自分のかけがえのない夢として、笑顔を絶やさず、今日もトラスコンで仲間とA-netの相談をしています。せめて自分にできること、骨髄を待ち続ける人々のために、実名と顔を出して広く骨髄移植への理解と、ドナー協力を求めて活動をしていきます。

この度、学園、大学の全面的な理解と協力で、A-netは多摩ネットワークでも活動できるようになりました。紛れもなく成蹊大生は自分たちの意志で三千人以上の人々を救おうとしています。

一人でも多くの成蹊人の皆様に、献血・骨髄バンクについての普及活動・ドナー登録にご協力いただけますようお願い申し上げます。

骨髄移植の詳細については財

センター長の独り言

櫻井勝

去

る六月一日、道路交通法改正で一斉に駐車違反の取り締まりが強化された。取り締まりが民間委託され、「ちよつとだけ」の違反も許されなくなった。

平気で路上駐車をしていたことに對するシツペ返しとなっている。結局、皆がモラルを守っていれば、ここまでする必要はなかったはずである。

残念ながら今の日本人には滅私奉公たる社会人としてのモラルは見受けられない。

スウェーデンでは二五％という高い税金を国民が払っている。それが国策である「高水準の社会福祉制度」を支えている。一方、公共に對して守るべきモラルを国民はしっかりと認識している。

地球温暖化等の問題に對しても彼らは敏感である。他人事ではなく、脆く、崩れようとする自然環境に對し積極的に目を向け、自分たちの生活の中で真剣に取り組んでいる。ゴミの分別や自転車の利用等を率先して行っている。それ

が今、自然破壊の歯止めを唯一自分たちが出来る事だと信ずるからである。彼等は物言わぬ叫びに、鋭敏だ。そうした耳を傾ける心の豊かさがある。

今回、「骨髄バンクドナー登録のすすめ」について触れたが、時にこんな声を聴くことがある。

「必要だということは分かるんだけど、今ひとつ具体性に欠けるというか、身近な現実って感じがしないですね。もう少し分かりやすい広報とかしてもらわないと、やはり痛みを押してでも、という気にはならないですよ……」

心を澄ませよう。助けを必要としている人の声は、か細く、弱々しく、不器用であつたりする。自分の耳に届きにくいから、届かない方が悪い、と片付けてしまっているのだろうか。

是非、この声に耳を傾け、優しく手を差し伸べよう。そうした心の豊かさを保ち続ける私たちで在りたいものだ。

団法人骨髄移植推進財団

(<http://www.jmdp.or.jp>または
<http://www.donorsnet.jp>)をう覧
下さい。

骨髄バンク登録三十万人を目

指す「A-net」

[http://homepage.mac.com/
unchain_jun.A-net/](http://homepage.mac.com/unchain_jun.A-net/)

(保健師・養護教諭 石川孝子)

●在学学生および教職員数（2006年5月1日現在）

所属			在学生			教職員数		
			男	女	計	専任	非常勤	計
学園	国際教育センター		—	—	—	6	5	11
大学	大学院	工学研究科	137	24	161	—	—	—
		経済学研究科	8	1	9			
		法学政治学研究科	9	4	13			
		文学研究科	22	26	48			
		経営学研究科	24	12	36			
		大学院計	200	67	267			
	法務研究科		100	40	140	16	372	601
	学部	経済学部	1,309	792	2,101	48		
		理工学部／工学部	1,321	262	1,583	81		
		文学部	359	1,625	1,984	46		
		法学部	1,195	798	1,993	38		
		学部計	4,184	3,477	7,661	213		
	共通		—	—	—	1	138	139
	大学（大学院・法務研究科・学部）計		4,484	3,584	8,068	230	510	740
高等学校			558	428	986	48	28	76
中学校			474	281	755	41	16	57
小学校			406	297	703	37	10	47
養護教諭			—	—	—	3	—	3
事務・技術・労務職員			—	—	—	211	—	211
合計			5,922	4,590	10,512	576	569	1,145

※専任には、特別任用教授・特別任用教諭・客員教授・常勤講師・契約職員を含む。
事務職員には、契約職員カウンセラーおよび実習助手を含む。

2007年度 入学試験日程

【大学】

A方式:3教科型

学部	学科・募集人員		出願期間	試験日	合格発表日
経済学部	経済経営 地歴公民型	150	1月6日 (土)	2月13日 (火)	2月20日 (火)
	学科 数学型	50		2月14日 (水)	2月21日 (水)
法学部	法律学科	104	1月31日 (水)	2月12日 (月)	2月19日 (月)
	政治学科	52			
文学部	英米文学科	60	ただし2月1日 (木)に本学で 窓口受付を 行います。	2月11日 (日)	2月18日 (日)
	日本文学科	45			
	国際文化学科	55			
	現代社会学科	50			
理工学部	物質生命理工学科	42			
	情報科学科	42			
	エレクトロメカニクス学科	42			

C方式:3教科型、S方式:5教科型（大学入試センター試験利用型）

学部	学科	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日
経済学部	経済経営学科	C方式	S方式	1月6日 (土) ～ 1月19日 (金) (消印有効)	1月20日 (土) 1月21日 (日) (大学入試 センター試験日)	2月9日 (金)
法学部	法律学科	35	5			
	政治学科	24	4			
文学部	英米文学科	10	2			
	日本文学科	8	2			
	国際文化学科	7	2			
理工学部	現代社会学科	8	2			
	物質生命理工学科	25	3		本学での 2次試験は 実施しない。	
	情報科学科	30	3			
	エレクトロメカニクス学科	30	3			

AO マルデス方式

学部	学科	募集人員		出願期間	審査日(1次)	合格発表(1次)	審査日(2次)	合格発表(2次)
		一般	特別					
経済学部	経済経営学科	35	帰国生特別受験 社会人特別受験 外国人特別受験 各学科:若干名	9月19日(火) ～ 10月4日(水) (消印有効)	10月21日(土)	10月27日(金)	11月4日(土)	11月11日(土)
法学部	法律学科	20						
	政治学科	10		ただし 10月5日(木)は 本学で窓口受付 を行います。	(実技／思考力) 10月28日(土) 10月29日(日) (面接)			
文学部	英米文学科	8						
	日本文学科	4						
	国際文化学科	6						
	現代社会学科	8						
理工学部	物質生命理工学科	10						
	情報科学科	10						
	エレクトロメカニクス学科	10						

【高等学校・中学校・小学校】

募集年次		募集人員	出願期間	試験日	合格発表日
高等学校	第1学年	約80名	1月23日(火)～1月30日(火)	2月10日(土)	2月11日(日)
	海外帰国生	第1学年 約15名	2月2日(金)～2月6日(火)	2月14日(水)	2月15日(木)
	第2学年転編入	若干名	3月1日(木)～3月13日(火)	3月14日(水)	3月15日(木)
中学校	第1学年	男子 約75名 女子 約55名	1月20日(土)～1月23日(火)	2月1日(木)	2月2日(金)
	国際学級(9月期入学)	第1学年 若干名	2006年6月12日(月)～6月20日(火)	7月4日(火)	7月5日(水)
	国際学級(4月期入学)	第1学年 10名 第2学年 若干名 第3学年 若干名	2006年12月8日(金)～12月14日(木)	1月10日(水)	1月12日(金)
小学校	第1学年	112名(男子56名、女子56名)	10月2日(月)～10月10日(火)	男子 11月1日(水)午前と 2日(木)～4日(土)の1日 女子 11月1日(水)午後と 2日(木)～4日(土)の1日	11月5日(日)
	国際学級	第4学年(9月期入学)	2006年6月5日(月)～8月23日(水)	9月1日(金)	9月2日(土)
		第4学年(4月期入学)	2007年1月10日(水)～2月27日(火)	3月3日(土)	3月5日(月)

おもな学校行事予定(7月～9月)

	大学	高等学校	中学校	小学校
7月	【学部・研究科】 18(火)～20(木) 補講日 20(木) 前期授業終了(補講を含む) 21(金)～8/3(木) 前期試験 【法科大学院】 18(火) 授業終了 19(水)～25(火) 補講期間 26(水)～8/5(土) 前期試験	1(土)～6(木) 期末テスト 19(水) 終業式・保護者会	3(月)～6(木) 期末テスト 4(火) 国際学級編入学試験 17(祝)～20(木) 1年夏の学校(車山) 17(祝)～21(金) 2年夏の学校(志賀) 22(土) 終業式・保護者会	13(木)～15(土) 1年夏の学校(箱根) 18(火)～22(土) 3年夏の学校(箱根) 19(水)～24(月) 5年夏の学校(磐梯高原) 19(水)～24(月) 6年夏の学校(岩井)
8月	【学部・研究科】 4(金)～9/20(水) 夏期休業 【法科大学院】 6(日)～9/24(日) 夏期休業			
9月	【学部・研究科】 11(月)～15(金) 夏期集中講義期間 21(木) 後期授業開始 30(土) 学位授与式(9月卒業) 【法科大学院】 25(月) 後期授業開始	5(火) 始業式 13(水)～14(木) 体育大会 16(土) 五学園教育懇談会	5(火) 始業式 15(金) 体育祭 16(土) 五学園教育懇談会	1(金) 国際4年編入学試験 8(金)～12(火) 4年夏の学校(和田長浜) 22(金) 遠足



成蹊園時代



夜の凝念 1912(明治45)年池袋

成蹊園について

一九〇六(明治三十九)年、東京市本郷区西片町に小さな私塾翌年「成蹊園」と命名が誕生した。塾生わずか三名、これが中村春二の第一歩であった。

中村は東京帝国大学在学中に曹洞宗第一中学校林、卒業後は麹町女学校(現在の麹町学園)などで教育の現場を経験、人を育てることの魅力と厳しい現実と直面した。急激な就学率向上による画一的な教育、さらには経済的事情から進学を断念せざるをえない教育の不公平に疑問を持った彼は、地方の公立中学校長の推薦を辞退する。自らの考える「真の教育」の実現を目指し、中村の志に共鳴した今村繁三・岩崎小弥太の支援のもと、「成蹊園」の開設に至ったのである。

成蹊園の塾生はみな奨学金を与えられ、中村の家に寄宿し、家族同然に迎えられた。昼はそれぞれの学校に通学し、それ以外の時間は一人ひとりの個性に適した指導を行う。学習、夜の茶話会、スポーツなど心身の鍛錬を通じ、塾生は勉学とともに、中村が生徒に伝えたかった「生きるということ」について学んだ。

成蹊園の活動はすぐに評判を呼び、華族の子弟が次々と入塾を希望するようになった。中村は当初困惑したが、華族子弟には奨学金を支給せず実費を徴収することとし、これを受け入れた。中村はこうした華族の子弟についてもなんら特別な待遇はせず、厳しい鍛錬教育を行った。

やがて、中村は学生塾の形態に飽き足らぬものを感じ、二十四時間生徒に接することができる学校を起こしたいと考え、成蹊実務学校を設立することとなる。

創立者中村春二が私塾を始めて今年で一〇〇年、時代とともに規模や場所は変わったが中村の目指した「個性尊重の教育」は今も学園に脈々と受け継がれている。



成蹊学園広報

2006年7月10日 発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422)37-3517

URL <http://www.seikei.ac.jp> E-mail koho@jim.seikei.ac.jp